

通期の見通し

売上高は、電気料収入が、料金改定や燃料費調整制度の影響により増加することなどから、連結で6兆6,190億円程度（前年度比10.8%増）、単独で6兆4,340億円程度（前年度比11.5%増）となる見込みです。

費用面では、電気事業において、為替レートの大幅な円安化の影響などにより燃料費の増加が見込まれる一方で、人件費の削減や修繕工事の緊急的な繰り延べなど、徹底したコスト削減を織り込んだ結果、経常利益は、連結で570億円程度、単独で270億円程度になるものと見込んでおります。

また、当期純利益は、経常利益に加え資金援助申請に伴う資金交付金の計上などにより、連結で6,610億円程度、単独で6,560億円程度になるものと見込んでおります。

なお、当期純利益の見通しについては、特別損益の第3四半期までの実績を反映したことなどから、本年1月15日に公表した金額から、連結・単独それぞれで90億円程度下方修正しております。

<連結>	25年度 (今回見通し)	25年度 (1/15公表見通し)	24年度実績
売上高	6兆6,190億円程度	6兆6,190億円程度	5兆9,762億円
経常損益	570億円程度	570億円程度	3,269億円
当期純損益	6,610億円程度	6,700億円程度	6,852億円

<単独>	25年度 (今回見通し)	25年度 (1/15公表見通し)	24年度実績
売上高	6兆4,340億円程度	6兆4,340億円程度	5兆7,694億円
経常損益	270億円程度	270億円程度	3,776億円
当期純損益	6,560億円程度	6,650億円程度	6,943億円